



# 江の川だより

2022.12  
第14号

－みんなで取り組む江の川の流域治水－

## 15地区について治水対策の方針が確定しました

江の川下流域では、平成30年7月及び令和2年7月（一部は令和3年8月も含む）の**近年2度の家屋浸水被害が生じた15地区を緊急対策特定区間に設定**し、令和3年4月に江の川流域治水推進室を設置して以降、「治水とまちづくり連携計画」（令和4年3月）に基づき、地区ごとの治水対策を住民の皆様と検討してまいりました。

このたび、江津市長良地区の手交式で治水対策の方針が決定したことから**15地区全ての地区**において、地元合意の上で**治水対策の方針がまとまりました**。

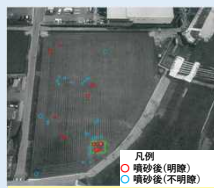


長良地区からの要望書手交式の様子

### ■ 地区ごとの治水対策概要



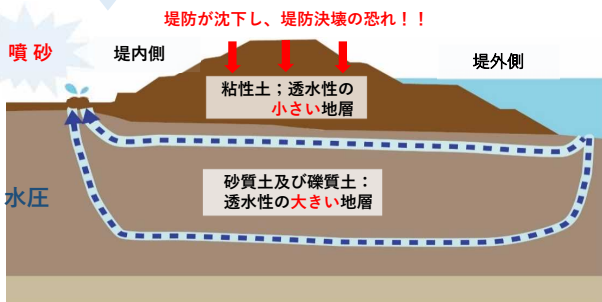
## 因原災害復旧工事の事業進捗



川本町因原地区では令和3年洪水で発生したパイピング対策として、護岸付近に遮水矢板を打設する工事を行っています。

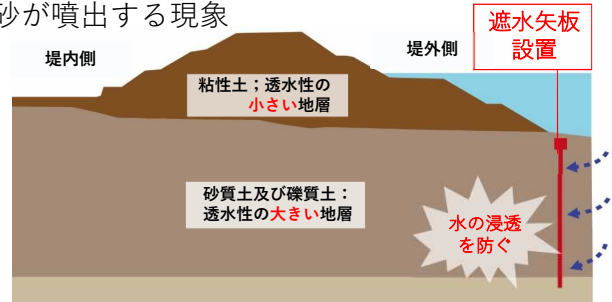
地盤内に水が浸透するのを防ぐために、遮水矢板を設置する工事です。

※パイピング：河川水位が上昇すると、透水性の大きい地盤に水が浸透し、宅地側に河川水とともに土砂が噴出する現象



**対策前** 地盤内に水が浸透し土砂が流出するため、空洞が拡大する。

→ 陥没や堤防沈下が発生し、堤防決壊の恐れ



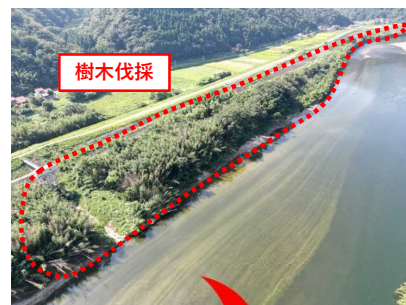
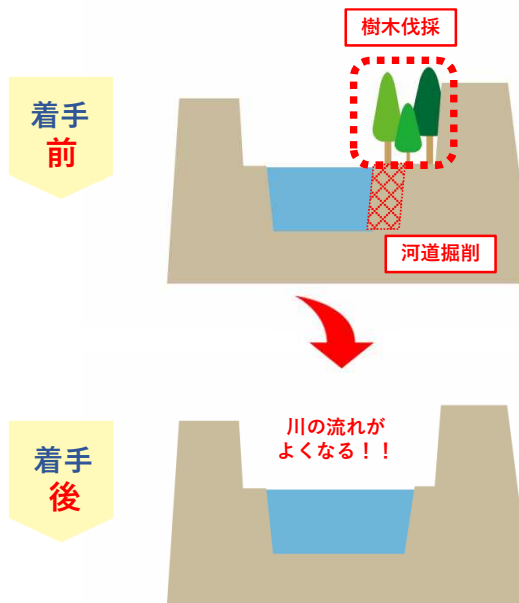
**対策後** 地盤内に水を通さないように遮水矢板を設置し、陥没・堤防の沈下を防ぎます。



# 河道内の掘削、樹木伐採について

近年川越地区は浸水被害が多発しており、今後の出水に備えて河道掘削・樹木伐採を行っています。工事による川越地区の水位低減効果 約30cmを見込んでいます。令和5年度も地域の安全・安全のため、同様な樹木伐採及び河道掘削を継続的に進めます。

## 川越地区



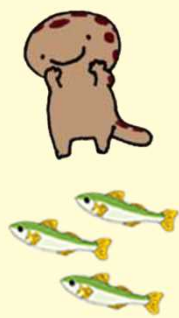
## 長良の瀬で多数のアユの産卵が確認されました

令和4年10月に産卵場（長良の瀬）の造成を行い、その後の産卵状況の調査では、造成面積2,553㎡のうち、2,065㎡で産卵が確認されました。**利用率81%**

多数のアユの産卵が確認され、産卵場の環境が改善されています。



写真出典：島根県水産技術センター



## 本田窯跡の発掘調査が行われました

江の川河川改修事業に伴い、江津市内で発掘調査が行われています。今回の本田窯跡の発掘調査では、作業の建物の他にも、粘土を水にさらして焼き物に使う陶土を精製する**水簸（すいひ）施設**と石垣のかわりに石見焼のはんどう（水がめ）に石を詰めて積み並べた**窯垣**などが見つかりました。



水簸施設



窯垣

写真出典：島根県埋蔵文化財調査センター

## 問い合わせ先

〒695-0011 江津市江津町672番地4  
江の川流域治水推進室 Tel 0855-54-0377



推進室HP



浜田河川国道事務所Twitter